

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2018 No.507
3 / 1

JART情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル31階
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



災害支援診療放射線技師 研修会報告



平成29年12月23日(土・祝)・24日(日)の2日間にわたり、本会としては初めてとなる災害支援診療放射線技師研修会を開催した。4月の災害対策委員会で研修会を開催できるかどうかを検討してもらい、講師の先生のめどが立ちそうとの報告があり、今回、研修会開催の運びとなった。

研修会の目的は、

1. 放射線業務専門職の災害時支援者として、被災地や被災者にとって有効に機能できる能力を習得する
2. 災害支援診療放射線技師としてチーム医療の一員としての活動ができる
3. 各地の災害時における診療放射線技師による支援活動チームの構築
——とした。

講義内容は、災害派遣看護師研修シラバスを参考に、診療放射線技師に合わせた検討を行い、講師の先生にこちらの要望をご検討いただき了承を得た。受講対象者は、前年度に47都道府県より提出いただいた放射線サーベイチームから、災害支援のリーダーにふさわしい方を推薦していただいた。そしてこれからは放射線サーベイチームではなく、災害支援チームと名称を改め活動していただくこととした。



当初は23日だけの研修会を計画していたが、中澤会長から超音波での下肢静脈検査の実習も一緒に行ってはどうかとのアドバイスを頂き、急ぎ、江藤理事にご協力頂き2日間での研修会を行うこととなった。

今回の研修会の費用・旅費・宿泊費について、必要なものは本会持ちで開催することに決定し、まさに特別な研修会となった。

当日、12月23日午前11時、47都道府県の代表者の方が本会講義室に集合され、会長のあいさつから始まった。研修は地域別に6グループに分け、2日間共に勉強する仲間とした。

初日の午前中は、われわれの専門知識が大いに発揮できる原子力災害医療への対応について、国立国際医療研究センター放射線診断部門 武田聡司先生に、医療機関の対応、避難退域時検査・簡易除染などの講義をしていただいた。

次いで、川崎市立川崎病院 小野欽也先生(本会災害対策委員)に、本会で購入した最新のGMサーベイメーターを使った住民のスクリーニングサーベイの実演を行っていただいた。当委員会推奨のセグメント法で、お互いにスクリーニングを行い習得した。

午後からは、「一般の災害時の診療放射線技師の役割と現



スクリーニングサーベイ実習の様子

状」という題で、神戸赤十字病院 中田正明先生と災害医療センター 小西英一郎先生にお願いした。この研修は、グループディスカッションの後に発表するという形式で行われた。すでに6グループに分かれていたため、すぐに打ち解けて、ものすごい熱気と勢いを感じた。先ほどまでの机上の講義とはまるで違い、これからの研修会の在り方が分かったような気がした。



活発な議論が行われたグループディスカッション



超音波検査実習の様子

2日目は、江藤理事によるオリエンテーションに続き、午前9時より「超音波検査の基礎」という座学を稲川天志先生、川地俊明先生、宮崎寿哉先生にお願いした。そして午前10時過ぎより実習を行ったが、多くの講師の先生と日立製作所・富士フイルム・コニカミノルタの各企業の多大なるご協力により、あっという間に時間が過ぎ、実際に被災地に行って検査を行った方、本当に初めての方たちがいろいろ質問したり教え合う、大変素晴らしい研修会となった。

最後に、佐野副会長より閉会のあいさつを頂き、参加者には修了証書が授与され、クリスマスイブの研修会は終了した。

日本医師会 横倉義武会長を訪問

平成30年1月9日(火)に、中澤靖夫会長は野村俊正事務局長と共に日本医師会を訪問し、横倉義武会長へ年頭のあいさつを行った。

限られた時間ではあったが、平成30年度の診療報酬改定において、全体の改定率がマイナス1.19%となる中、横倉会長のご尽力により診療報酬本体では前回は上回るプラス0.55%となったこととお話しされた。また六年制教育制度についても意見交換を行った。



平成29年度 第2回JART-JIRA定期懇談会 開催される

平成30年1月18日(木)午後4時より、本年度2回目となるJIRA(一般社団法人日本画像医療システム工業会)との定期懇談会がJIRA事務局第4会議室で行われた。

本会からは中澤会長、佐野副会長、熊代副会長、小田理事、江田理事、野村事務局長の6人、JIRAからは小松会長、木村専務理事、野口経済部会長、古川法規・安全部会長、森事務局長、横田総務部長の6人が出席した。

本会からは、第33回日本診療放射線技師学術大会、診療報酬要望書、柔道整復師法一部改正法案に対する反対表明決

議、中小医療機関向け医療機器保守点検の在り方に関する研究、医療放射線の適正管理に関する検討会、第34回日本診療放射線技師学術大会について報告した。

JIRAからは、JIRA創立50周年記念行事、最近のJIRAの活動状況、平成30年度事業計画(案)、経済部会報告、法規・安全部会報告についての内容であった。

次回は、平成30年7月に本会事務所で開催される予定である。

平成29年度 診療放射線技師実習施設 指導者等養成講習会 開催される

平成29年度第2回の診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会が、P-MET（公益財団法人医療研修推進財団）との共催により平成30年1月12日（金）～14日（日）までの3日間、東会場である本会事務所で開催された（西会場：臨床研究情報センターで2月2日（金）～4日（日）に開催）。

この講習会は、診療放射線技師の養成教育に従事している実習指導者に対し、診療放射線に関する最新の知識・技術を習得させ、実習指導者としての資質の向上を高めた上で実習を効果的に実施し、診療放射線技師の資質の向上を図ることを目的として開催している。学生が実際に患者さんと対する臨床実習は、臨床実習指導者の指導・指示の下で行われる。臨床実習の役割は、必要な専門科目の総合的な実践技術を医療現場で養うこと、専門職業人として将来必要になる医療現場などの管理・運営に関する基本的な知識や態度を習得させること、倫理観・人間性について考えさせること、医療専門職業人としての重要性を認識し医療チームの一員としての自覚と責任感を養うこと、患者さんに共感し接遇を行うコミュニケーション技術を習得すること——など、多岐にわたっている。

それら多くのことを効果的に行う指導者として、知識の向上を図るとともに、医療の高度化、国民のニーズの多様化、医療に対する権利意識の高まりなど、医療専門職を取り巻く状況の変化に対応するための養成講習会になっている。

今後も、継続事業として講習会開催を進めてまいりたい。

※P-METとは

医療に関する各分野を横断的かつ統合的に捉え、国民が願う良質な医療を提供するため、医療従事者を対象とした研修システムの開発とその実施、関係団体が実施する研修の支援および関係情報の収集・提供を行うことを目的として、平成7年10月に厚生大臣の許可を受けて設立。厚生労働省の指導の下、医師および医療従事者に対する各種の研修・講習会、医療研修情報提供システムによる医療研修情報の収集や提供などの事業、さらに医師臨床研修マッチング事業や、診療放射線技師・理学療法士・作業療法士など、医療関係職種を対象とした実習施設指導者講習会などを行い、卒後研修の充実に貢献している。

公益社団法人 岐阜県診療放射線技師会 平成29年度 冬季セミナー開催される

平成30年1月6日（土）に、岐阜県大垣市のクインテッサホテル大垣において平成29年度冬季セミナー（公益社団法人岐阜県診療放射線技師会共催）が開催された。

本会 中澤靖夫会長は「日本診療放射線技師会の現状と課

題」と題して講演を行った。座長は岐阜県診療放射線技師会の安田鋭介会長が務めた。

参加者は106人（会員95人、非会員7人、賛助会員2人、講師2人）であり、セミナーは盛会のうちに終了した。



レントゲン週間 イベント開催される



本会では、1895年11月8日のW. C. レントゲン博士によるX線発見を記念し、毎年11月2日～11月8日の一週間を『レントゲン週間』と制定している。放射線の専門家として正しい知識を国民に伝えるとともに、私たちの仕事を知っていただくためのイベントを企画し、毎年、全国各地でさまざまなイベントが開催されている。

MIYAGI

①平成29年10月15日(日)、角田市保健福祉センターで「医療画像

展(第16回角田市保健福祉まつり)」を開催した。

CT・MRIなどの画像を展示し、画像や検査・治療の説明を行った。脳動脈瘤に対するコイル塞栓と経皮的冠動脈形成術のピアオを上映、併せてコイル・ステント・ペースメーカーを展示し、治療内容の説明を行った。またマンモグラフィ関連のパネルを展示し、乳がん検診の受診率向上のための啓発活動を行った。一般参加者は216人であった。

②平成29年10月21日(土)には、古川保健福祉プラザで「医療画像展(第12回大崎市健康と福祉のつどい)」を開催した。

CT・MRIなどの画像を展示し、画像や検査・治療の説明を行った。またマンモグラフィ関連のパネルを展示し、乳がん検診の受診率向上のための啓発活動を行った。頸部超音波検査の体験コーナーを設け、超音波画像の解説も実施した。例年2日間の催しだが、選挙の関係で1日のみ開催し、頸部超音波検査を362人が体験した。

(宮城県放射線技師会 立花 茂)



IBARAKI

①茨城県がん検診推進月間「がん予防・検診+ピンクリボン+放射線展」開催

開催日時：平成29年10月22日(日) 9:00～16:00

開催場所：イーアスつくば2F グランサックス前

参加者：会員11人、非会員3人、学生4人、一般来場者195人

②茨城県がん検診推進月間「がん検診+ピンクリボン+放射線展」開催

開催日時：平成29年10月29日(日) 9:00～16:00

開催場所：イオンモール水戸内原2F R.O.U前

参加者：会員13人、非会員3人、学生5人、一般来場者226人

内容：茨城県がん検診推進月間に合わせ、茨城県保健福祉部保健予防課と共同で、保健福祉部による「がん検診」の啓発キャンペーンと県技師会の「ピンクリボン+放射線展」が開催された。運営スタッフ(22日:18人、29日:21人)でパンフレット資料配布・ハート風船配布などが行われた。22日は大雨にもかかわらず195人、29日には226人と、多くの方が訪れ盛況であった。来年も共同でできるよう準備したい。

(茨城県診療放射線技師会 水木 一弘)



KANAGAWA

平成29年10月8日(日)、横浜公園から日本大通りで「第42回中区民祭り ハローよこはま2017」が開催された。

今年のハローよこはまは秋晴れて、気温も上昇し、夏のような絶好のイベント日和となった。神奈川県放射線技師会では、管理士部会と渉外委員会の合同で被ばく・放射線に関することや、乳がん触診体験を行った。放射線のブースでは、計測器に興味を引かれる子ども、被ばくに関心のある方が多く見られた。触診体験では、10代~80代の幅広い女性が関心を持って触れていた。外国の女性がしっかりとした手つきで触診をされていたのが印象的であった。出展は神奈川県医療専門職連合会と合同で行った。

(神奈川県放射線技師会 松本 好正)



YAMANASHI

平成29年11月12日(日)、ラザウオーク甲斐双葉でレントゲン週間「放射線フェスタ」を開催した。

会場では骨密度測定と放射線診療のパネル展示を行った。骨密度測定では検査結果を医師から詳しく説明していただくこともあり、大変好評で100人の受検者があった。またパネル展示は乳がん検診の啓発や放射線診療、診療放射線技師業務についての説明パネルを展示した。全体での来場者は160人であり、成功裏に終了することができた。

(山梨県診療放射線技師会 佐野 尚樹)



NAGANO

平成29年11月11日(土)、イオンモール佐久平で「第15回検査と健康展」が開催された。

長野県診療放射線技師会では骨密度測定を行い、156人の方の測定を行った。またノベルティーグッズの配布も行った。会場では、幅広い年齢層の方々と交流することができた。

(長野県診療放射線技師会 東信支部長 新津 勇人)



SHIZUOKA

①平成29年9月10日(日)、静岡市内青葉シンボルロードで「第38回静岡ふれあい広場」が開催され、超音波検査無料体験に176人、骨密度測定無料体験に230人、乳がん検診のすすめに104人、医療被ばく相談に25人のイベント参加があった。

(静岡県放射線技師会 愛甲 泰久)



②平成29年10月21日(土)、伊豆の国市 葦山福祉・保健センターで「伊豆の国市 市民ふれあい広場」が開催され、無料骨密度測定・パネル展示・放射線被ばく相談を行った。

当日は台風接近による雨の影響から来場者の減少が危惧されたが、親子連れなどの姿も見られ、イベント参加者は例年並みであった。結果としては骨密度測定も82人と例年よりも多くの参加があった。

(静岡県放射線技師会 東部地区会 大倉 善郎)



③平成29年11月26日(日)、浜松市可美公園総合センターで「可美公園まつり2017」健康ブースに参画し、無料骨密度測定に198人、乳がん検診無料相談に51人のイベント参加があった。
(静岡県放射線技師会 西部地区会 竹田 守)



WAKAYAMA

平成29年11月3日(金・祝)、パームシティ和歌山店で「放射線パネル展」を開催した。
骨密度測定、パソコンでの3D画像表示、パネル表示による放射線検査の説明や被ばく相談を行った。一般参加者は62人であった。
(和歌山県放射線技師会 木村 文)



OKAYAMA

ピンクリボン岡山2017共催イベント「第14回乳がんから女性を守ろう」に参加して
開催日時：平成29年10月14日(土) 9:00~16:00
会場：山陽新聞社さん太広場

本年度は、毎年10月の乳がん月間に開催されるピンクリボン岡山との共催で「第14回乳がんから女性を守ろう」が開催された。ピンクリボン運動PRウオークでは、参加者約100人がピンクのタオルを首に巻き、山陽新聞社~西川緑道公園~桃太郎大通りを歩き、途中のJR岡山駅で乳がん検診啓発ポケットティッシュを約3千個配布した。またメイン会場のさん太広場の岡山県診療放射線技師会ブースでは、倉敷成人病センターの平田美夏先生による「乳腺検査の種類」というテーマの講演会が行われた。午前中3回の講演が行われ、マンモグラフィーの詳しい説明や超音波検査の説明がされた。会場からはたくさんの質問や相談があり、参加者は熱心に聴講されていたのが印象的だった。また乳がん視触診ファントムで、視触診体験・医療被ばく相談・パネル展示も行い、来場者の方へ説明を行った。山陽新聞社9階会議室では「ライフスタイルや遺伝と乳がんの話題」「もう一度乳がん検診を考えよう」と題した教育講演があり、約200人が聴講された。乳がんは30歳代から増加し始め、40歳代後半から50歳代前半にピークを迎える。生涯に乳がんを患う日本人女性は、現在、11人に1人といわれ、乳がんは身近な病気になっている。本イベントなどを通し、早期発見に関心を持っていただけたらと思う。
(岡山旭東病院 高尾 渉)



SHIMANE

平成29年11月3日(金・祝)、イオン松江ショッピングセンターで「2017レントゲン週間・ピンクリボンフェスタ あなたのための医療放射線展」を開催した。
イベントとして、骨密度測定・乳がん検診相談・放射線検査相談・医療放射線説明パネル展示・クイズラリーを行った。連休の初めということもあり出足は鈍かったが、お昼すぎから子ども連れの参加が多く見られ、来場予想者数を大幅に上ることができた。一般参加者は243人であった。(島根県診療放射線技師会 生田 浩司)



一般社団法人 香川県診療放射線技師会 創立70周年記念式典を終えて

公益社団法人日本診療放射線技師会
中四国地域理事 北川 明宏

平成30年1月20日（土）、JRホテルクレメント高松において、ご来賓26人、協賛会員24人、会員85人、総勢135人の参加を頂き、香川県診療放射線技師会創立70周年記念式典が執り行われた。暦の上では一年で一番寒い大寒の日であったが、気温12度と穏やかな日和の下で挙行された。

【記念式典】 前田圭見アナウンサー司会の下、濱田会長による式辞の後、浜田香川県知事、久米川香川県医師会長、本会 中澤会長より祝辞を頂き、さらなる技師会の発展のお言葉を頂戴した。表彰式に移り、知事感謝状（加藤さま、芳賀さま、山本さま）・30年勤続功労賞（楠さま、犬伏さま、三好さま）・協賛会員感謝状（伏見製薬 守家さま）・JART奨励賞（宮武さま）が授与され、表彰者を代表して加藤さまがごあいさつをされた。次にご来賓の中四国会長ほか14人の紹介があり、祝電披露へと進行し滞りなく厳かに式典を終えた。



【記念講演】 真鍋会員（りつりん病院）が司会となり、初めに中澤会長より「日本診療放射線技師会の現状と課題」と題して、3つの話を頂き「教育なくして将来はない」ということを熱く語られた。続いて四万十の大野病院 小笠原先生からは「人のいのちも自然のなかのもの」というテーマで、お年寄りにはその人のペースでゆったりした言葉で優しく接する必要があるということ、病院だけが医療ではなく、自然の中に自分を置くことも大切ではと訴えた。最後に、赤とんぼの歌で締めくり、しみりと心に浸みた。その後、Wマコトさんの「安心安全な現場を作る！コミュニケーションの流儀」では、会場と一体型の講演となり笑いを誘い、時間も忘れあつという間の60分であった。



【祝賀会】 松下会員（海部医院）が司会となり、中四国協議会 北川代表、香川大学 西山教授、徳島文理大学 朝原教授による祝辞の後、ホテルクレメント初の試みとしてくす玉でのオープニングとなった。中澤会長、北川中四国協議会代表、中四国会長12人がご登壇し、司会によるカウントダウンの掛け声で見事に開き、BGMと共に盛大な拍手が会場より起こった。乾杯の音頭は8代会長 桑原さま、余興は若いエネルギー溢る国分寺太鼓とフラダンスショーで大いに盛り上がり、中四国各県からの銘酒が宴に華を添えた。閉会は、9代会長 加藤さまによる一本締めで締めくくられ、終宴となった。

中澤会長ほか、来賓より「非常に盛大で、このような祝賀会は初めてで楽しく過ごさせていただいた」「香川県は若い会員の参加が多く素晴らしい」「やはり讃岐うどんはおいしかった！」とお褒めの言葉を頂いた。

香川県診療放射線技師会のさらなる発展のため、若い20代・30代の会員は未来永劫、この技師会組織を90周年、100周年へと継承することを誓い記念事業を終えた。



INFORMATION

第6回 第34回日本診療放射線技師学術大会 山口への道 下関ってこんなところ!

実行委員 小田真一郎

(山口県診療放射線技師会 会誌広報担当常任理事)

クジラの話

私事ですが、学生時代は横浜スタジアムへのアクセスを考え、東急東横線の沿線に住んでいました。ここ数年の横浜ベイスターズは、昨年の日本シリーズ進出など、40数年来のファンである私にとって、非常に楽しく期待の持てるシーズンが続いています。しかし、私がハマスタに通っていた頃は、数年に一度、勝ち越すのがやっとという体たらくでした。その当時のチーム名は「横浜大洋ホエールズ」。親会社は大洋漁業(現マルハニチロ)で、かつて本社が下関駅前であり、主要な事業はチーム名の由来となった遠洋捕鯨でした。そして「大洋ホエールズ」がプロ野球に参入した、1950年当初から3シーズン目までは下関をホームグラウンドとして使用しており、その点も私がベイスターズファンである理由の一つです。

下関は、大洋漁業の捕鯨基地となる以前から鯨製品の加工・販売の拠点であり、南氷洋捕鯨の最盛期には日本有数の2万トンの鯨肉が水揚げされていました。そして現在も調査捕鯨の船団が下関から出航しています。そこで下関市は、2011年に「市の動物」をクジラと決定(市の魚はもちろんフグ)、「くじらのまち日本一」を目指し、同じく捕鯨の伝統を持つ長門市とともに、シンボルマークとして「らーじくん」を作成しています。

今年、150年を迎える明治維新のきっかけは黒船来航でしたが、その目的は、アジアへの進出と、それ以上に捕鯨船の補給目的の寄港地の確保でした。当時、欧米ではランプの燃料として鯨油を使用しており、鯨肉は食用とせず捨てていました。映画『白鯨』でも、世間知らずのローマ王女をとりこにしたイケメン記者が、自分の片足を奪った巨大な白い鯨を執念で追う狂気の船長となり、捕った鯨を煮て油を採るシーンが見られます。個人的な意見ですが、欧米人と日本人の自然感の違いはいかんともし難いものがあるのでしょうか。日本人は「自然」に対して身を委ね、自らもその一部であるイメージがありますが、欧米人は神から「自然」を与えられた、人間によってコントロールしてこそその「自然」なのでしょう。そのため人間を襲うオオカミを絶滅させ、国のシンボルとはいえ、増えすぎたカンガルーは年間140万頭を駆除しても、人間になんら直接的な危害を加えないクジラは保護しなければならないのでしょう。



「らーじくん」

高度成長期に育ったわれわれの重要な動物性タンパク源だった鯨も、今や高級品となってしまいましたが、下関市内では本格的な鯨料理を食べることのできる店が20件近くありますので、ぜひご賞味ください。また建物がクジラをかたどっている「市立しものせき水族館 海響館」には、全長26mのシロナガスクジラの骨格標本(日本で唯一だそうです)や捕鯨の歴史に関する展示もありますので、こちらをご覧ください。



「海響館」 Google Earthより





第34回 日本診療放射線技師学術大会

The 34th Japan Conference of Radiological Technologists (JCRT)

第6回 アジア放射線治療シンポジウム

The 6th Asia Radiotherapy Symposium (ARTS)

国民と共にチーム医療を推進しよう

Let's promote team medical care with the nation

—時代の潮流を見極める—

The Direction of Tomorrow

会期
Date

平成30年
9月21日(金)~23日(日)

September 21st (Fri) -23rd (Sun) , 2018

会場
Venue

海峡メッセ下関
下関市生涯学習プラザ

KAIKYO MESSE SHIMONOSEKI /
Shimonoseki City Lifelong Learning Plaza

会長
President

中澤 靖夫

(公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)

Yasuo Nakazawa (The Japan Association of Radiological Technologists)

大会長
Chairman

山内 秀一

(一般社団法人 山口県診療放射線技師会 会長)

Shuichi Yamauchi (The Yamaguchi Association of Radiological Technologists)

URL:<http://www.convention-w.jp/jcrt34>

主催: 公益社団法人 日本診療放射線技師会

Host: The Japan Association of Radiological Technologists

共催: 一般社団法人 山口県診療放射線技師会

Cosponsor: The Yamaguchi Association of Radiological Technologists

後援: 厚生労働省(予定)

Support: Ministry of Health, Labour and Welfare

山口県(予定)

Yamaguchi Prefecture

下関市(予定)

Shimonoseki City

運営事務局 株式会社日本旅行 中四国コンベンショングループ

Congress Secretariat

〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町2-1-7 JR西日本岡山支社ビル1階 TEL:086-259-5578 FAX:086-250-7682 E-mail:jcrt34@wjcs.jp

Nippon Travel Agency Co.Ltd. Chu-shikoku Convention Group 2-1-7, Ekimae-cho, Kita-ku, Okayama, 700-0023, JAPAN Phone: +81-86-259-5578 Fax: +81-86-250-7682 E-mail: jcrt34@wjcs.jp

本会の動き

災害対策委員会より

災害対策委員会は、平成16年度に災害医療対策委員会として設置された。初代委員長には村田豊松先生が就任され、平成16～19年度までの4年間勤められ、平成19年度に災害対策委員会と名称変更があった。平成20～21年度は相模 司先生が委員長に就任され、放射線災害対策委員会と名称変更。平成22～23年度は鈴木憲二先生が就任された。

忘れもしない平成23年3月11日午後2時46分、東北地方太平洋沖を震源とする巨大地震が発生、地震の規模はマグニチュード9.0で、日本の観測史上最大規模の地震であり、それに伴って発生した津波により、外部電源を喪失した東京電力福島第一原子力発電所の爆発事故が起こった。そのため福島県住民に対する放射線サーベいの派遣依頼が本会にあった。

本会は、診療放射線技師55人で、15,466人に対し放射線スクリーニングを実施した(平成23年3月16日～4月17日)。福島県放射線技師会は、福島県放射線技師会会長で本会災害対策委員会委員長であった鈴木憲二先生の陣頭指揮により、診療放射線技師297人で、29,286人に放射線スクリーニングを実施した(平成23年3月13日～6月9日)。また平成23年4月11日～9月12日まで、367遺体に検案前放射線サーベイを実施した。このことは、日本診療放射線技師会の事業で委員会だけの事業ではないが、あえて書かせていただいた。残念なことに、鈴木憲二先生は平成23年7月16日に急逝された。福島県放射線技師会の会長として、事故発生直後から緊急被ばくスクリーニングや住民への対応などに奔走され、心身共にお疲れだったのではないかと推測された。ご冥福をお祈りします。

平成24～25年度まで、稲葉孝典先生が委員長に就任され大規模災害対策要綱の原案作りにご尽力いただいた。平成26～30年2月現在は、私、北川明宏が委員長を務めさせていただいている。鳥根県原子力防災訓練に委員が3人参加しており、学術大会においては放射線サーベイの実習を企画し、大勢の参加があった。平成28年3月の委員会で関西広域連合と協定を結んだことを機に、各県に原子力災害時の放射線サーベイチームの設立をお願いして、本会にその要綱案を提出していただいた。そして何回か手直しをした後、大規模災害対策要綱が平成28年7月3日に制定された。いつ、どこで大災害が起きても不思議ではない。本会としても、放射線サーベイチームとして設立していただいたチームを大規模災害派遣チームのような形で発展させて、災害の最中、疲弊しているわれわれ診療放射線技師の仲間に、熊本地震の時より少しでも早く業務支援でき、また社会により貢献できる態勢を目指している。その第一段階として、平成29年12月23日・24日に災害支援診療放射線技師研修会を開催した。そして近い将来、災害支援認定診療放射線技師の制度を構築していきたい。

●災害対策委員会のメンバー

北川 明宏	日戸 宏治	小野 欽也	南保 修
吉田 篤史	鈴木 達也	大下 友昭	伊藤 大助
轟 英彦			

(文責：北川明宏)

3月・4月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

■業務拡大に伴う統一講習会： 埼玉 4月21日(土)～22日(日) 青森 4月28日(土)～29日(日・祝)
 京都 4月28日(土)～29日(日・祝)

JART求人広告掲載について

INFORMATION

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
 ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。